

## 2023年から2030年“見果てぬ夢”に向かって

昨年末に机の前の壁に貼ってある2022年に掲げた目標の達成度をチェックしてみました。ラッキーなことに7割近くが実現している感じです。

- ① コロナに絶対に感染しないこと → 祈りとマスク、手洗い、うがいの実践
- ② 毎日のウォーキング、週1の水泳、週1のテニス、月1のゴルフ
- ③ ギターを人前で弾けるようになること
- ④ シニア向けの英会話講座を楽しく盛り上げる
- ⑤ 中学校のステップアップ教室について新しい工夫を
- ⑥ アキシマエンシスでの世界文学講座を軌道に乗せる
- ⑦ 春に房総半島への日帰り旅行、秋に東北への旅をする
- ⑧ 第2回元聖教新聞特派員のOB会議を開催する。また東京に出てきたばかりの職場・藤井商会のOB会を60年ぶりに開催する

それぞれについて反省、修正加筆して今年目標へつなげていくと：

- ① 感染しないように十分に注意していたつもりだが、食事会などで数回「危ないかな？」と思うような場面もあった。そのなかで無事だったのは本当にありがたいことだ。今年も、これからも注意を怠りなくしていく以外にないだろう。

- ② ウォーキングは毎日、朝夕3000歩前後+階段上り（下の投稿記事）。水泳は泳ぎを500

往、水中ウォークを500往。テニスはギックリ腰が心配で控えた。ゴルフは今年の夏頃には近くの「昭和の森ゴルフ場」が閉鎖される予定なのでそれまでは当面ゴルフも楽しんでいこう。

- ③ 4～6月、週1回3ヵ月間、市の公民館主催による「初心者向けギター教室」があり、基礎からもう一度と参加した。講師をギターサークル「響」が支

えていて、その流れで

サークルに入会。“いつか再びホームコンサートを開き近隣の友人を呼び親交を深めたい”との思いからだったが、サークルは定期演奏会や音楽祭に出演するなどが主目的で毎週水曜日午前中が練習だった。今年4月の定演に向けて自分は5曲をマスターしなけ

2022.12.22  
81歳 7階まで階段

無職 清水 武 81  
(東京都昭島市)

ウォーキングを終え、住んでいるマンションに戻る際、1階から自宅のある7階まで88段の階段を上っている。ただ歩くよりも運動量が多いように思うし、足腰を鍛えるのに役に立つだろう。それに、雨の日も階段ならぬれなくて済む。近くにスポーツクラブもあるが、階段は無料の健康器具であり、ありがたい。ちなみに、下りは踏み外す危険があるのやっていない。老いは足からとも言ふ。元気でいられるのは歩くことの効用だと実感している。

＜時事川柳の投稿＞〒103・8601日本橋郵便局留 読売新聞東京本社「時事川柳」係まで。読売新聞オンラインの「よみうり時事川柳への投稿」からも投稿できます。テーマを付記。住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記。筆名可。読売新聞の電子メディアに掲載することがあります。二重投稿はお断りします。

昨年12月22日の読売新聞「気流」欄に載った投稿記事

ればいけない（先輩たちは計 10 曲）。ならばこの機会にその練習を活かし、シニア向け英会話講座の英語の歌もギターの伴奏で盛り上げ、またホームコンサートの再開も目標にしていきたい。

- ④ これまで教材として使ってきた中学校の教科書”Total English”が今年 3 月に終わるので新しい教材が必要となる。この 10 年あまりに参考資料として使ってきた本も 10 冊以上になっている。そこでこれからは自分で身近な英語表現を中心としたやさしくて面白いテキストを作り教室も楽しく盛り上げていきたい。講師は 85 歳まで頑張るつもり。自分の脳トレに最高の環境になっていると思うから。

- ⑤ 昨年 10 月にアキシマエンシス（総合図書館の附属校舎）で講演したフランス文学の「三銃士」と「レ・ミゼラブル」を中学生向きに編集しステップアップ教室で紹介した。今年は生徒の様子を見ながら学期に 1 回くらいはこんな企画を持ちたいと思う。「もうお歳ですから・・・」と言われるまで学習支援員を続ける。家から近くにありこんな刺激のある場はないし、シニアの英会話教室の参考にもなるから。



- ⑥ 一昨年から 2 年がかりで 7 回（国際交流部会主催による英語講演を含めて計 8 回）の講演で世界文学 12 作品の紹介をす

岩手県平泉町中尊寺の金色堂

ることができた。コロナの関係で聴講者への呼びかけに気を配り苦労したが平均すると 20 人前後の参加者があった（ほぼ 50 人収容の教室だがソーシャルディスタンスを配慮する必要があった）。内容を含めて大成功だったと思う。妻の関係で同じ棟の婦人二人が会場の設営等で応援してくれ助かった。今秋には府中の TAMA 市民塾で 6 回の連続講座が予定されている。地元でも状況によっては同じ作品



の再講演もあるかもしれない。他からの講演依頼の期待もしたい。

- ⑦ 訪問時期の順序は逆になったが結果的に 2 カ所とも訪れることができたのは出来過ぎだった。11 月初めに JTB の企画による奥入瀬を含む東北 4 県を 1 泊 2 日で訪れ、同月末にはシニアクラブ主催の千葉房総の日帰り旅行に参加した。こちらは 8000 円の参加費だったが旅行支援があり結果的にほぼ無料に近くなった。“こんなこともあるんだ”と意外な思いもしたがありがたいことだった。

青森県十和田市の奥入瀬溪流

- ⑧ はコロナの感染が収らず何も進まなかった。やむを得ないだろう。

以上が昨年の反省と本年（2023 年）の目標ですが、いつもその先に 2030 年に「創価学会の創立 100 周年」という大目標があります。それまでにどこまで広宣流布（仏教を基軸にした世界平和）に貢献できるか。私のみならず多くの創価学会員がその目標に向かって頑張っているでしょう。遠大なしかも人間の生き方として最高の目標があることは大きな励みになりありがたいことです。そのとき私は 90 歳。そこまでは元気で最大限に貢献の活動を続けていくことが長期的な目標です。さあ、今年も頑張るぞ！！